

# 実施事業のモデル

- 本事業の目的の一つである「障害者の多様な働き方についての情報発信」について、参考になる事例をまとめました。各事例は事業種別や運営する組織の形態が異なりますが、様々な方法により従来の障害者雇用・就労支援事業等のあり方に変化を促そうとする取り組みという点で共通しています。
- 各事例の事業内容を理解しやすいように、以下の3つの機能に分類しアイコンを付けてありますので参考にしてください。



飲食の提供



障害者地域作業所自主製品等の販売



就労啓発事業

## 実施事業のモデル\_1

# Social café 「Sign with Me」

- 所在地 東京都文京区内に2店舗（本郷店、春日店）
- メニュー 具たくさんスープ、カレー、パスタなどとソフトドリンク。日替わりスープ、セットメニューあり。
- コンセプト 「憩い」「学び」「相談」の調和した知的食空間 & 手話空間。女性一人でも気軽に白いご飯を食べられるカフェ

### ◎事業の特長

- ・ろう者が立ち上げた手話カフェ
- ・ろう者をスタッフとし、公用語を日本手話と筆談とするスープカフェ
- ・スープ+ご飯orパン+ミニサラダorソフトドリンクの日替わりセット810円。パーティプランとして1500円～コースもあります
- ・ろう者か聴者に関係なく交流や相談をし合う中で新しい考え方を生み出せる場になることを願っています



# 「Bremen Fairytale」

- 所在地 東横線元住吉駅徒歩5分 ブレーメン通り商店街
- 主な商品 自家焙煎コーヒー、クッキーなどの焼き菓子、保存食品、オリジナルグッズなど
- 主な顧客 自分へのご褒美を購入する仕事帰りの30~40代の女性
- 店舗コンセプト 福祉のイメージを変える  
「支援する/される」の関係を壊す



## ◎事業の特長

- ・精神障害者を雇用し、福祉事業ではなく一般の店舗として経営しています
- ・商店街の会員となっており、普通の店舗として理解されています
- ・クラウドファンディングを活用して資金調達し、店舗改修やデザイナーによるショップや商品のブランディング等を行いました
- ・商品はあくまでショップに置きたい商品、売れる商品を厳選し全国各地から仕入れてしています



# 福祉のコンビニ「こさえたん」



- 所在地 大阪府庁別館1階
- アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅から徒歩5分
- 主な商品 パン、弁当、飲み物など職員の昼食  
雑貨、菓子、紙製品、布製品、木工製品など
- 主な顧客 大阪府職員、近隣住民

## ◎事業の特長

- ・ 府庁本館で営業していた「まちのパンやさん」が販売拡大のために移転
- ・ 運営法人が3か月ごとに委託販売商品を募集し、審査・選定しています
- ・ 審査は大阪府、運営法人が担当し、商品力が高い商品を厳選し販売しています
- ・ 落選した事業所には改善ポイントを伝えブラッシュアップをはかっています
- ・ 「こさえたん」のラベルをデータ発行しブランドの普及に取り組んでいます



# 「Good Job ! Center KASHIBA」

■ 所在地 奈良県香芝市

■ アクセス JR「香芝(かしば)駅」より徒歩5分

近鉄大阪線「下田(しもだ)駅」より徒歩7分

■ 拠点の目的

・ アート・デザイン・福祉・ビジネスの拠点として、障害のある人と共に社会に新しい仕事を作り出す

・ 企業、デザイナー、研究者など異分野をつなぐプラットフォームを創出

## ◎事業の特長

・ カフェ、工房、倉庫、セレクトショップが1つの拠点の中にあります

・ 3Dプリンターなどのデジタル工作機を活用し、障害のある人の表現や手仕事によるオリジナル製品をつくっています

・ 障害のある人のアートやデザインによる4,000種を超える商品ラインアップをそろえ、流通センターとして機能しています

・ 倉庫の商品が必ず動く管理システムを作り、仕事のバリエーションを広げています



「鹿コロコロ」  
(中川政七商店と協働で開発した張り子の商品)

# 分身ロボットカフェ 「DAWN ver.β」

■ 東京都港区 日本財団ビル1階にて期間限定開催（2018年11月～12月）



## ◎事業の特長

- ・ ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者や脊椎損傷者など、これまで就労の対象として考えられなかった重度障害者が、株式会社オリィ研究所が開発している分身ロボット「OriHime-D(オリヒメ・ディー)」を遠隔操作することで働く実験カフェ
- ・ 今回は約10名の障害者が交代でカフェの注文・接客を行いました
- ・ 障害者だけでなく育児や介護のために自宅にいる人たち、日本に住みながら外国で働きたい人たち、企業の一般的な在宅勤務にも今後分身ロボットの活用が予想されます
- ・ これまで福祉や障害者にかかわりのなかった人も、最新のテクノロジーを体験できることなどから関心を持ちやすくなります



※常設の店舗ではありませんが、新しい就労啓発の取り組みの一例として提示しています



### ● おからさんアロマハンドケア

<https://www.flatheart.or.jp/>

障害のある人がアロマハンドケアを学び、お客様にサービスする「大倉山スイミー」の活動をさらに広げて実施しています

### ● アプローズ南青山

<http://applause-aoyama.com/>

港区南青山にアトリエをかまえ、オンラインショップでの販売を展開しているフラワーショップ。障害者がいきいきと働ける環境を作るだけでなく、花を購入することによって、企業や個人が楽しく手軽に社会貢献できる仕組みをつくっています



### ● 株式会社 革靴をはいた猫

<https://www.shoeshinecat39.com/>

京都の靴磨き専門店。企業などを訪問しての出張靴磨きや、店舗での靴磨きを障害のある職人も担当。「与え、分かち合う存在へ」を理念にあらゆる若者の活躍の場を広げることを目指す。





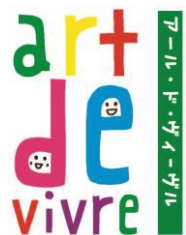
### ● E's CAFE <http://es-cafe.net/>

障害者雇用のモデルケースづくりを目指してオープンしたスポーツカフェバー。サッカーと食事とお酒を楽しみながら、みんなで交流できる場所



### ● 株式会社 京都・一乗寺ブリュワリー <http://kyoto-ichijoji-brewery.com/about/>

在宅で暮らす精神障害者の雇用の場とするため醸造所を開業。「農福連携事業」にて作られた麦とホップを使ったオリジナルクラフトビール醸造も行っています



### ● 就労継続支援B型事業所 アール・ド・ヴィーヴル

<http://artdevivre-odawara.jp/contact/>

プロのアートディレクターとの協働により、障害者の感性を活かした表現活動、オリジナルグッズの製造・販売、絵画作品の定期リース事業などをおこなっています



### ● シブヤフォント <http://www.shibuyafont.jp/index.html>

障害のある人の描いた文字や数字を、学生がフォントとしてデザインしパブリックデータ化。企業や個人がダウンロードして使えるようにしました